



園長だより♡

No.30. R5.12.12 (Tue)

ある朝の自由遊びの日の事です。さくら組の男の子A君が、担任の先生の所に走り寄り、来て。(A君)「先生！先生！大発見」といって発見をしたんだらうと。(先生)「どうしたの？」と問い掛けると…。

(A君)「ボクが使ってたスコップが、水を持ちに行ってるうちに、B君に見てよって頼んでおいたのに、Cちゃんが使ってるんだ〜。我慢しようと思ったけど我慢出来ないんだよ〜」と、自分の中で折り合いをつけられずに溢れる想いを「発見」と表し、訴えに来てくれたんですね。でも、その言い方は、すごく憤慨しているわけではなく、さりとしてA君の中では心の整理がつかず、先生に受けとめて貰いたい一心だった様子が窺えました。

スコップを使っていたCちゃん、一応確保を依頼していたB君も、怒めるわけでもなく、やり場の精一杯の想いをどうすることも出来ず、先生を頼って来たんですね。遊びの経験の中で今まで、園という集団の中で、一日一日培ってきた道徳性・社会性・規範意識の成長が、この一場面に集約されているな〜と、つくづく実感し、このエピソードを、と〜っても嬉しく見守りました！



先生も「どうしたらいいかな？」と、本人の想いも尊重しつつ…。
そこにあたってから、Cちゃんとして使い始めたばかりだったので、(スコップを)使った近くで、以前から使っていた(スコップを)D君にだけなので、譲歩を打診してみると、先生の計らいで快諾してくれたので、無事にA君はスコップを超平和的に手にする事が出来ました。A君をはじめ、譲ってくれたD君や、子ども一人ひとりの想いを尊重する先生の判断も含め、思いやりと温かさが溢れていたこの場面。

日常の遊び、こんなにもひとつひとつが学びの糧になり、心の成長に繋がっているんだらうな〜と、と〜っても嬉しく思った、朝のほっこりエピソードでした。
あまりに心が温かくなったので、皆様にもお返しをいたして…。

